

奨励賞

大企業区分

東芝デバイス&ストレージ株式会社姫路半導体工場

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	兵庫県揖保郡太子町鵜 300 番地
業種	製造業
社員数	826 名
受賞歴	2017 奨励賞
ウェブサイト	https://toshiba.semicon-storage.com/jp/corporate/about/site/himeji.html

事業場及び地域における環境活動を通じた人材育成

取組の目的

1. 事業における環境活動

- 当工場で働く従業員に対し、環境経営についての理解と環境意識の向上を目的として、環境教育や環境啓発活動を行っている。
- 構内常駐会社に対し、環境取組みの活性化や環境経営能力の向上を目的として、環境教育、指導、支援を行っている。

2. 地域における環境活動

- 地域の生物多様性保全活動の活性化を目的に、絶滅危惧種、準絶滅危惧種の保護を行っている。
- 次世代の環境活動への参加を促すことを目的に、近隣の小学校、中学校、高校と連携し、環境啓発活動を行っている。

取組の実績

1. 事業における環境活動

① 環境教育、啓発活動について

(a) 環境教育

- 環境一般教育を当工場の全従業員(826名)を対象に ESG や SDGs 等をテーマに e-learning と座学を用い実施した。
- 環境一般教育に加え、特定従業員教育、内部環境監査員教育、マシンキーパー初級環境教育、転入者向け環境教育を実施した。

(b) 啓発活動

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

- 環境月間(6月)、3R推進月間(10月)、省エネ月間(2月)等に合わせ、全従業員参加型の各種啓発行事を実施した。
- 構内に生息している生物(爬虫類、両生類、魚類、昆虫類)を集め、従業員および来場者を対象に展示会および説明を行なった。

② 取引先への環境支援について

(a) 構内常駐会社への環境教育

- 構内常駐会社の従業員 500名以上を対象に e-learning と座学により、環境一般教育を実施した。

2. 地域における環境活動

① 生物多様性保全活動

(a) フジバカマの保護およびアサギマダラの呼び込み

- フジバカマ(準絶滅危惧種)の保護およびアサギマダラの飛来定着を狙い、工場緑地エリアへ500株の植樹を実施した。なお、2013年度より段階的に、300株フジバカマを栽培している。また、フジバカマについて近隣自治会の方を対象に鑑賞会および説明を行なった。



フジバカマの鑑賞会

(b) カワバタモロコの保護

- 姫路市立水族館と連携し、当工場内にて、カワバタモロコ(絶滅危惧種)の保護活動を実施した(約150匹)。なお、本活動は2013年より継続している。また、近隣自治会の方を対象にカワバタモロコの鑑賞会および説明を行なった。

② 地域との交流について

(a) 環境ポスター

- 近隣小学校へ向けた環境啓発を目的として、環境ポスターの募集を実施した。なお、本活動は2007年より継続している。
- 当工場従業員と近隣行政(太子町教育委員会、太子町役場)職員にて、環境ポスターの選考会を開催し、入選作品を決定した。

(b) 出前環境教育

- 近隣小学校を対象に、地球温暖化をテーマとした出前環境教育を実施した。なお、本活動は2014年より継続している。
- 前年度で3回目の開催となり、2校で実施し、計98名が参加した。
- 本年度より、本業の「半導体による省エネ」を用いた出前環境教育を行なう。



出前環境教育の様子

(c) 東芝森の科学探検隊

- 行政(太子町教育委員会)と連携し、近隣小学校に通う児童とその保護者を対象に、自然の恵みや自然観察の楽しさを学びながら、自然観察活動を実施した。なお、活動は 2009 年より継続している。
- 本年度で 10 回目の開催となり、延べ 175 組 349 名が参加した。

(d) 職場体験及び見学

- 兵庫県で開催している中学生対象の職業体験学習(トライやるウィーク)を実施した。
- 地域の工業高校を中心に、職場の見学会を開催した。

(e) 工場見学会

- 近隣自治会を対象に 2018 年 10 月に工場見学会を実施した。

成果・課題

1. 事業における環境活動

① 環境教育、啓発活動について

(a) 環境教育

- 環境一般教育は、全従業員(826)が受講し、環境意識の向上により、節電や節水、3R 等の取り組みが活性化している。
- 昨年度までの課題を活かし、ESG や SDGs をテーマとした環境教育を実施し、従業員へ周知することができた。
- 本教育を活かして、2017 年度における環境目標の全項目達成につなげることができた。

(b) 啓発活動

- 3R 推進月間啓発行事として、従業員間で書籍の交換会を開催し、リユース、リデュースの啓発を行った。交換対象は、家庭で不要な書籍とし、計 300 点以上が持ち寄られ、従業員やその家族の 3R 活動の動機付けにつながった。
- 3R 推進月間啓発行事として、当工場従業員に対して身近な 3R に関する標語を募り、1,281 作品が応募された。優秀作品 3 作を選定し、表彰や副賞の贈呈を行った。作品は、3R 啓発ツールとして各職場に配布し、2018 年 10 月から 2019 年 9 月まで掲示する。
- 身近な生物を通し、従業員および来場者の生物に対する関心づくりに役立てた。

② 取引先への環境支援について

(a) 構内常駐会社への環境教育

- 当工場の環境一般教育を活用することで、国内外を問わず最新の環境情報の共有をすることができている。

2. 地域における環境活動

① 生物多様性保全活動

(a) フジバカマの保護およびアサギマダラの呼び込み

- 本年度の植樹の準備として、約 600 株の挿し木を行った。なお、順調に成長した 500 株を緑地エリアの花壇に植樹した。

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

- 2018年10月12日～26日の間にアサギマダラの構内への飛来を確認した。(延べ30匹程度)
- アサギマダラの飛来について、当工場内や弊社グループ内で周知し、従業員の生物に対する関心づくりに役立てた。

(b) カワバタモロコの保護

- 2016年に近隣のグループ会社へカワバタモロコを寄贈し、保護活動の支援を行い、寄贈先における生物多様性保全の啓発に役立っている。

② 地域との交流について

(a) 環境ポスター

- 入選作品は、太子町庁舎にて一定期間掲示し、地域の環境啓発に役立っている。
- 入選作品は、環境ポスター表彰式や社用EV車へのペイント等を通して周知し、参加数の向上を図っている。
- 入選作品を地域イベントにて展示し、地域の環境啓発に役立てた。
- 本年度は74点ご応募いただいた。

(b) 出前環境教育

- 参加した児童に行ったアンケートでは、「生物を守りたい」、「二酸化炭素を減らしたい」という意見が多かった。
- 地域との関わりが深まったことにより、実施校の拡大につながった。

(c) 東芝森の科学探検隊

- 15～25組の定員を設定しており、毎年安定して参加していただいている。
- 参加者に行ったアンケートでは、「身近な森で新たな発見がたくさんあった」、「親子で良い思い出ができた」、「また来年も参加したい」等、参加された皆様から前向きな意見を頂いた。
- 貴重なタマムシが発見され、参加者に大変喜んでいただけた。

(d) 職場体験及び見学

- 当工場の製造工程を見学する際に、3Rの取り組み等を紹介し、参加者の環境意識向上につながった。

(e) 工場見学会

- 9つの近隣自治会よりご参加いただき、製造工程や環境経営活動について見学いただいた。
- 環境経営活動について、「さらなる発展および周知を期待したい」という意見を頂いた。

今後の改善

1. 事業における環境活動

① 環境教育、啓発活動について

(a) 従業員への環境教育

- SDGsと構内の活動をより関連付けた教材作成を行ないたい。

(b) 啓発活動

- ・ 啓発行事については、新しい行事の企画や意見募集を引き続き行い、全員がより積極的に参加したいと思う行事を運営したい。

② 取引先への環境支援について

(a) 構内常駐会社への環境教育

- ・ 環境教育の内容や実施方法等について、構内常駐会社より意見をいただき、その意見を引き続き反映させていきたい。

2. 地域における環境活動

① 生物多様性保全活動

(a) フジバカマの保護およびアサギマダラの呼び込み

- ・ 次年度以降もアサギマダラの飛来を呼び込み定着させたい。また、アサギマダラの飛来は社会的に注目度が高く、社外へ積極的に PR することで、地域の環境意識の向上につなげていきたい。

(b) カワバタモロコの保護

- ・ カワバタモロコの個体数調査等に、従業員にも参加していただくことで、生物多様性保全活動を身近に感じてもらいたい。

② 地域イベントの開催について

(a) 環境ポスター

- ・ 引き続き地域イベント等で、環境ポスターの入選作品を紹介することで、地域の環境意識の向上につなげたい。

(b) 出前環境教育

- ・ より多くの学校、児童に、出前環境教育へ参加してもらえるように、近隣小学校や教育委員会と連携していきたい。
- ・ 昨年までは、環境保全担当が講師を務めていたが、新たに弊社グループの環境教育専門スタッフが講師に加わり、より充実した環境教育の実施および当工場内の知識・技能等の人材育成が期待される。

(c) 東芝森の科学探検隊

- ・ より多くの人数に参加してもらうため、地域学校と連携を深め、活動を継続したい。

(d) 職場体験及び見学

- ・ 環境経営活動の周知により力を入れたい。

(e) 工場見学会

- ・ 次年度以降、工場見学参加者を増大したい。

関連・補足情報

東芝デバイス&ストレージ株式会社 姫路半導体工場 環境報告書 2017

https://toshiba.semicon-storage.com/content/dam/toshiba-ss/jp/docs/company/environment/pdf/2017_hime_env_report_j.pdf

審査委員会からの講評

全従業員に ESG や SDGs をテーマに取り入れた e ラーニングと座学を実施し、特定従業員、内部環境監査員、転入者など属性に応じた教育を実施している。また、構内常駐の他社従業員 500 名に対しても同様の環境教育を行っており、高く評価できる。

座学に加え、構内の環境保全活動も積極的に取り組み、工場敷地でのフジバカマ増殖とアサギマダラ、カワバタモロコの保護活動を地域に開いて実践。工場見学会や出前授業に社員が指導的に関わるほか、今後の課題として SDGs と構内の活動をつなげていく意向が示されている。環境保全は息の長い実践が求められ、SDGs の切り口から地域に定着、拡大していくことを期待している。